

Syllabus Id	Syl-132-028(山之内 教員)		
Subject Id	Sub-132-205760		
更新履歴	2012.4.1 新規	2016.3.30 修正	
授業科目名	工業英語Ⅱ	Technical English II	
担当教員名	山之内 亘	YAMANOUCHI Wataru	
対象クラス	電気電子工学科 5 年生		
単位数	1 履修単位		
必修 / 選択	選択		
開講時期	前期		
授業区分	基礎能力系		
授業形態	講義		
実施場所	E5 ホームルーム		
授業の概要 (本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
グローバル化に対応したコミュニケーション手段として、工業英語の正しい理解と活用が産業界、学会で必須であることを理解し、技術に関する英語構文分析能力、英作文能力および英単語能力の向上を目的とする。			
準備学習 (この授業を受講するときに前提となる知識)			
工学全般にわたる技術用語 技術報告書の書き方			
学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D. コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力を身につける。			
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		
授業目標			
1. 科学・技術に関する基本的な英語文章を読んで理解することができる。 2. 簡単な英文の技術報告書、取扱説明書、指示書、注意事項を解読できる。 3. 自分の研究についての概要を、英語で書くことができる。			
授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第 1 回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準等の説明	
第 2 回	技術短文の英作文 (1)	基礎的な英文法	
第 3 回	技術短文の英作文 (2)	重要な構文 (1)	
第 4 回	技術短文の英作文 (3)	重要な構文 (2)	
第 5 回	技術短文の英作文 (4)	一般的な技術表現 (1)	
第 6 回	技術短文の英作文 (5)	一般的な技術表現 (2)	
第 7 回	中間試験		

第 8 回	技術短文の英作文（6）	前置詞	×
第 9 回	技術短文の英作文（7）	冠詞	
第 10 回	技術短文の英作文（8）	専門分野・長文の作成	
第 11 回	技術報告書の解読（1）	英文和訳事例 1 題	
第 12 回	技術報告書の解読（2）	英文和訳事例 1 題	
第 13 回	技術報告書の解読（3）	英文和訳事例 1 題	
第 14 回	演習		
第 15 回	前期末試験		×
第 16 回	前期のまとめ		
		◆以上◆	

課題とオフィスアワー

課題プリントを授業後半で配布し演習を行う。次週講義までに提出を求め、確認後返却する

オフィスアワー： 火曜日、水曜日の午前中

評価方法と基準

評価方法

演習やレポートにより、自学自習能力の確認を行う。

前期試験及び後期試験により技術英語への理解度を判断する

評価基準

中間試験・定期試験の成績を 70%、課題レポート 20%、授業態度(発表など) 10%として評価する。
60点以上を合格とする。

教科書等	宮野 晃「初めての技術英語」、配布プリント
先修科目	英語
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	内容をまとめ、わかりやすい番所を行う
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。